

広報

いちき串木野

School Guide 2025

R7. 7. 22 発行

7

vol. 237



p. 3 市来農芸高校



p. 4 串木野高校



p. 5 神村学園高等部

ここから始まる
高校探し

特集 市内高校ガイド

LINE

いちき串木野市公式LINE

イベント情報など配信中!ぜひご登録ください



市内高校ガイドブック

～ 学び舎探しお手伝いします～

本市には3つの高校があり、そこに通う生徒達は夢を追って一生懸命学んでいます。3つの高校には、それぞれ独自のカラーがあり、学べること、楽しめることが各学校によって違います。また、地元の高校に通うことは、様々なメリットがあります。

中学生のみなさん、自分の夢を追い、個性を伸ばせる本市の高校で高校生活を満喫してみませんか。



地元の高校に通うメリット3選

- ① 通学時間が少ない
朝夕の電車やバスの時間を気にしなくていい。自由な時間が増える
- ② 地元の友達と過ごせる
小中学校の友達と新しいことを始めたり、切磋琢磨したりできる
- ③ 生活環境が安定する
今まで育った環境でストレスなく過ごせ、家族の送り迎えもしやすい

地元高校に通う高校生インタビュー

市来農芸高校3年の大平杏華（おおひらきょうか）さんにお話を聞きました。

—市来農芸高校に入学を決めた理由は？

祖父の家でお米を作っていることもあり、中学2年生の時に、将来は農家になりたいと思ったことから、地元の農業高校である市来農芸高校を選びました。

—現在学校で頑張っていること、取り組んでいることは？

授業や実習において、先生から言われる前に考えて行動しなさいと1年生の頃から教わってきたので、日々意識して取り組んでいます。また、吹奏楽部に所属していて、トロンボーンを担当しています。南薩地区合同で他の学校とかがわ総文祭2025に出場する予定なのでそれに向けて取り組んでいます。

—地元の高校に入学してよかったことは？

通学時間が短く、やりたいことに取り組む時間が作りやすいことです。

—中学生へのメッセージをお願いします

普通科ではなかなか学べないお米や野菜作り、マーケティングや6次産業化などが学べて、農業等に関する専門資格も取れる市来農芸高校をぜひ選択肢に入れてみてください。



大平 杏果さん

本市出身。農業科3年生。中学生の時から農業に興味を持ち、同高に進学。卒業後は地元企業への就職を目指している。

次のページから市内の各高校が自己PRしています。これから進路を考える中学生の皆さんはぜひ参考にしてください。





鹿児島
県立

市来農芸高等学校

拓心
—Frontier Spirits—

〒 899-2101 いちき串木野市湊町 160 番地 ☎ 36-2341

HP <https://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/ichiki/> メール ichiki-sh@edu.pref.kagoshima.jp



ニンニクの収穫



草花実習

ここがイイね！私の学校

本校は、「学ぼう 命のあたたかさ 知ろう 命の育て方」というスローガンのもとで、農業に関する実践的な力を身につけることができる高校です。

実習を通して育てた作物・花苗・鶏卵・豚肉と、ジャムなどの加工品を、「農芸市場」や「生産物即売会」で販売しています。実習では、暑さや寒さ、病害虫対策など大変なこともあります。地域の方に喜んでいただける嬉しさを体感できるので、これからも実習を頑張ろうという情熱が心の底から沸きあがってきます。実習は、仲間達とのチームワークなので、団結力が芽生え、問題解決能力やコミュニケーション能力を養えます。

また、「感謝祭」という農畜産物に感謝する行事では、クラスごとにバーベキューコンロを囲み、全校生徒一緒に昼食をいただきます。命と食の大切さを深く噛みしめながら、全校生徒で心に残る思い出を共有し、親睦を深めることができます。

さらに、地域との連携にも積極的に取り組んでいます。地元の幼稚園児や小・中学校の皆さんがよく「農業体験」の目的で訪問されています。「食に関する学習の場」、さらには「農業の魅力を自ら体感できる場」として活用されています。

自然の中で学びたい中学生の皆さん、ぜひ市来農芸高校で私達とともに、新たな可能性を広げてみませんか？



生徒会長
小藺 史輝 さん
(伊集院中出身)

受験生へ学校アピール

本校は、創立 91 周年を迎える農業高校です。

農業科では、野菜や果樹などの生産・加工・販売までフードシステムを体系的に学びます。また、商品開発やマーケティングなどの商業科目を学び、6次産業化に適応し、自らビジネスを切り拓く人材を育成します。

畜産科では、畜産物の生産・加工・流通などを体系的に学び、6次産業化に適応するとともに、黒牛・黒豚・黒さつま鶏など、鹿児島県の畜産ブランドを学び、将来の畜産業界に貢献できる人材を育成します。

環境園芸科では、人と自然、環境の調和を昆虫学や野外活動を通して学ぶとともに、樹木・草花の栽培、フラワーデザインやガーデニングなど都市近郊型の園芸に関する技術を習得し、地域社会の発展を担う人材を育成します。

また、文部科学省から「農業経営者育成高校」の指定を受けており、農業科と畜産科の1年生は、月曜日から金曜日まで寄宿舎で規則正しい日課の寮生活を送っています。

学校データ

・学 科 農業科、畜産科、環境園芸科

・生徒数 148 名

・学校長 米澤 瑞代

・学校方針 スクール・ミッション

いちき串木野市にある歴史と伝統ある専門高校として、産業教育の基本理念に基づくとともにグローバル化の進展や生徒の実態を踏まえ、生命と関わる農業を通じて専門的な知識や技能・技術を身につけさせ、個性的で協調性のある創造性豊かな人格を育み、地域社会の持続的な発展に貢献する人材を育成する。

・進 路 過去5年分主なもの

【進学】

鹿児島大、東京農業大、酪農学園大、東海大、南九州大、鹿児島国際大、鹿児島女子短大、鹿児島環境情報専門学校、鹿児島県美容専門学校、鹿児島県立農業大学校

【就職】

瀧田酒造(株)、プリマハム(株)鹿児島工場、(株)新日本科学、(株)ヒガシマル、スターゼンミートプロセスサー(株)、(株)イケダパン、京セラ(株)川内工場、(株)イトーヨーカ堂、(株)尾崎牧場、(株)南九州沖縄クボタ、(株)下堂園、山崎製パン(株)、(株)ナンチクファーム、城山観光(株)、住友ゴム工業(株)など



Instagram



農業と環境の授業

串高でたった1つの「輝く星」になる



鹿児島
県立

串木野高等学校



〒 896-0024 いちき串木野市美住町 65 番地 ☎ 32-2064

HP <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kushikino/> メール kushikino@pref.kagoshima.lg.jp



熱中症も心配無用！3年目を迎える
屋内での体育祭



小規模校ならではの！少人数指導



九州制覇！次なる挑戦は
インターハイ！！（アーチェリー部）



卒業生 富永功太郎さんによる
開校記念日講演会

学校データ

- ・学 科 普通科
- ・生徒数 123 名
- ・学校長 立森 秀行
- ・学校方針 「積極・好学・邁進」のもと、良識があり、地域社会に貢献できる人材の育成を図る。
- ・進 路 過去5年分主なもの

【進学】

鹿児島大、宮崎大、山口大、琉球大、鹿児島国際大、志学館大、鹿児島純心大、第一工科大、福岡工業大、奈良大、西日本工業大、東亜大、京都精華大、鹿児島県立短期大学、大分県立芸術文化短期大、香蘭女子短期大、鹿児島女子短期大、九州龍谷短期大、鹿児島県立農業大学校、川内職業能力開発短期大学校、宮之城高等技術専門学校、始良高等技術専門学校、鹿児島情報ビジネス専門学校、KCS 鹿児島情報専門学校、鹿児島医療技術専門学校、神村学園専修学校、川内看護専門学校、鹿児島県美容学校、鹿児島歯科学院

【就職】

鹿児島県警、日本郵政(株)、中越パルプ工業(株)、濱田酒造(株)、京セラ(株)、山崎製パン(株)、ヴィーナス(巨人軍チア)、城山観光(株)、日本地下石油備蓄(株)、(株)光学堂、ANA FESTA(株)

ここがイね！私の学校

串木野高校に入学して、自分自身の成長を実感しています。特に、勉強への取り組み方です。進学を目指して熱心に勉強している仲間を見て「自分も、もっと頑張らなきゃ」と刺激を受けています。先生方は授業をわかりやすく教えてくれるだけでなく、放課後も丁寧に質問に答えてくださるので、困ったときにすぐに解決できるようになりました。成績が少しずつ上がっているのを実感するたびに、努力が結果に繋がっていることを嬉しく感じています。



生徒会副会長 3年
満園 雪菜 さん
(串木野中出身)

さらに、私は、1年生のときから生徒会役員をしています。この2年間で、学校内だけでなく、学校外においてもボランティア活動やイベントの運営など、様々な経験をしてきました。このような活動を通して、達成感を得るだけでなく、何かを成し遂げるために、その日その場で出会った人たちと協力する楽しさも知ることができました。そして「人前に立って何かをする」ということが好きになりました。元々、人前に出ることが苦手だったのですが、高校生になり、積極的に挑戦することで自分を変えられることができたのだと思います。

このように、串木野高校には自分を高められるチャンスがたくさんあります。今後も、残りの高校生活を楽しみながら成長していきたいです。



ホームページ



KUSHIKINO_HS

受験生へ学校アピール

串高では総合的な探究の時間を「串木野学」と呼び、いちき串木野市の様々な地域素材の中から自分なりのテーマを設定し、新たな価値やよりよい社会を実現するための提案や解決策を創出する取り組みを行っています。この学びを通じて、串高生は郷土へのさらなる愛着を持つとともに、変化の激しい時代を生きるために必要な、自ら考え、行動し、社会で活躍できる力を身につけます。

7月に開催した「串木野学最終報告会」では一般の方々が多く観覧されるなど、「串木野学」の取り組みは年々地域に認知されてきています。また、地域行事やボランティア等へ積極的に参加する生徒も多く、校内外において様々な多くの学びを得ることができる学校です。





実学による人間性豊かな人柄教育の実践

学校
法人

神村学園高等部

やればできる
かならずできる
ぜったいできる

〒 896-8686 いちき串木野市別府 4460 ☎ 32-3232

HP <https://angel.kamimura.ac.jp>

メール angel@kamimura.ac.jp



制服もバリエーションが豊富です！



看護学科実習

ここがイね！私の学校

「東京大学現役1名合格・京都大学現役2名合格」



知念 桜来 さん
(串木野中学校出身)

私は大学進学を目指し、神村学園高等部文理科に入学しました。文理科では国立大学合格を目標に、仲間と一緒に日々勉強を頑張っています。

文理科の先生方はとても親身になって自分の進路や学業についてお話をきいてくださり、一人ひとりに合わせたサポートが行われています。

私は自習室をよく利用するのですが、朝から夕方まで学校に残って勉強ができます。また、職員室が近いため、質問がしやすく、勉強する環境が整っています。勉強に対するモチベーションが上がらない時期もありますが、先生方や友達に助けられて、前向きに頑張っています。

昨年度は、東京大学に1名、京都大学に2名の先輩が現役で合格し、現在、文理科全体の勉強への意識が高まっています。

また、勉強以外でも、エンジェルスフェスティバルやサンドクラフト大会など、神村学園ならではの楽しいイベントやたくさんの行事があり、とても充実しています。

勉強、行事、部活、全てを全力で楽しめる神村学園で充実した高校生活を送ってみませんか。

受験生へ学校アピール

私たちの学園は、『人柄教育』、『個性教育』で高い専門性と国際感覚を備えた人材を育て、思いやりと優しさにあふれた謙虚な人柄を育成し、多くの感動を求め、感性豊かな人柄を育てます。学科は、難関国立大学、私立大学を目指す文理科、英語力と国際感覚を身につける英語国際コース、特別能力コースのある普通科は全国制覇、調理師およびパティシエを目指す調理科、看護師を目指す看護学科、保育士・幼稚園教諭・保育教諭を目指す保育科とすべての生徒が自分の夢に向けて頑張っています。



学園ドラマが完成！

看護師を目指すきっかけとなればと思い「ドラマ」を作りました。ぜひご覧ください。



吹奏楽部

第37回全日本マーチングコンテスト
ゴールド金賞(鹿児島県勢初)

学校データ

・**学科** 文理科(特別進学コース・文理コース)、普通科(英語国際コース・特別能力コース)、調理科(調理コース・パティシエコース)、保育科、看護学科、看護学科専門課程

・**生徒数** 1,443名

・**学校長** 吉永 輝彦

・**学校方針** <<建学の精神>>

実学による人間性豊かな人柄教育を行う

進路

【進学】

東京大、京大、東京工業大、東京外国語大、東京藝術大、筑波大、横浜国立大、大阪大、広島大、九州大、福岡教育大、長崎大、熊本大、鹿児島大、早稲田大、慶應義塾大、上智大、同志社大、立命館大、京都外大、久留米大、ブリティッシュ・コロンビア大、鹿児島国際大、鹿児島県立短大、鹿児島純心短大、鹿児島女子短大など

【就職】

鹿児島県警、警視庁、福岡市消防局、自衛隊、東京プリンスホテル、三井住友海上、シオノギ製薬、城山ホテル鹿児島、鹿児島サンロイヤルホテル、マナーハウス島津重富荘、モンシェリー松下など

【プロスポーツ】

東北楽天ゴールデンイーグルス、広島東洋カープ、福岡ソフトバンクホークス、清水エスパルス、FC今治、愛知ディオーネ、京都フローラ、埼玉アストライア、INAC神戸



ホームページ



Instagram

田畑 誠一 氏へ いちき串木野市名誉市民



田畑 誠一 氏 (85歳)

本市羽島出身。昭和50年に串木野市議会議員となり以後16年務める。その後鹿児島県議会議員を約12年務め、平成15年2月に串木野市長に就任。平成17年11月には串木野市、市来町の合併に伴い誕生したいちき串木野市の初代市長に就任。通算5期18年8ヶ月市長を務めた。

永年にわたり、いちき串木野市長を務め、市勢発展に多大な貢献をされた田畑誠一氏に、いちき串木野市名誉市民の称号を贈ることが令和7年6月議会で議決されました。

田畑氏は、市長在任中の功績に加え、串木野市議会議員、鹿児島県議会議員として、住民福祉の向上と地方自治の発展に大きく貢献されました。これらの功績から、令和5年11月に旭日中綬章受章の栄に浴され、令和6年11月に鹿児島県民表彰を受賞されています。

なお、10月11日に開催するいちき串木野市市制施行20周年記念式典において、名誉市民の称号を贈呈します。

田畑氏市長在任時の主な功績

- 住民説明会や住民アンケートを丁寧に実施し、議論を重ね、「串木野市と市来町の合併に尽力」
- プロスポーツの公式戦も開催できる「総合体育館の建設」
- 神村学園・JRとの協議のもと、「神村学園前駅を設置」
- 近代日本の礎を築いた若き薩摩藩士の偉業を顕彰した「薩摩藩英国留学生記念館を建設」
- エネルギーの地産地消に向けた「株式会社いちき串木野電力を設立」
- 初期費用を抑えた「定期借地権制度を創設」し、企業誘致に尽力
- 子どもから高齢者まで楽しく健康づくりができる「パークゴルフ場を建設」



名誉市民決定を受けて

栄誉あるいちき串木野市名誉市民の決定を賜り、誠に光栄に感じます。

豊かな自然、誇れる歴史、人情味豊かないちき串木野市の市政に携わらせていただきましたことは、私にとりまして、この上ない幸せな歳月を重ねさせていただきました。私が永年務めさせていただいたのは、市民の皆様のご理解ご協力、市議会のご指導ご鞭撻、そして、市職員による市政発展への努力の賜物であります。今回の名誉市民の称号も市民の皆様方の努力の結晶を私が代表して頂くものであります。

私は、市民の皆様方の今の幸せ、確かな未来の構築を目標に努めてまいりました。行政と政治は、市民生活に密着したものだと考え、明日は枯れると分かっている花でも水をやり、光の当たりにくい所に光を差し込むことを行政の責務としてきました。今後とも皆様方のお幸せといちき串木野市のさらなる躍進と発展をご祈念申し上げます。



20周年を祝う

～いちき串木野市誕生 20 周年～

10月11日のいちき串木野市誕生20周年に向けて、市民の皆さんとともに祝い、今後の市制の発展につながるさまざまな催しを予定しており、シリーズでその詳細や進捗をお伝えします。

20周年
(10月11日)まで
あと **82日**
(7月22日時点)

現在の取組

① 市公式キャラクターが決定しました

市制施行 20 周年を迎えるにあたり、本市の魅力を市内外に発信することによる知名度の向上、また、市民の皆さんの愛着・誇りの醸成を目的として、本市の公式キャラクターを募集したところ、全国から 166 点の応募がありました。多数のご応募ありがとうございました。厳正な審査の結果、最優秀賞（採用作品）1 点、及び優秀賞 2 点を決定しましたので、公表します。今後、市の広報等に幅広く活用し、市民の皆さんに周知を図っていきます。



※本キャラクターデザインは、作者が応募した作品を、作者同意の下、市で一部変更したデザインとなっています。



最優秀賞
採用作品
愛称 いちくっしー
作者 八谷 早希子さん（北海道江別市）

作者による作品の説明

帽子は、市の基幹産業（マグロ漁業）をイメージしたマグロでできており、市花のさくらが輝いています。また、体は特産品のサワーポメロでできており、市が海に面した立地である事から、メインカラーに青と水色を採用しています。

元気いっぱい、やさしい笑顔で、全国にいちき串木野市の魅力をアピールし、子どもからお年寄りまで多くの方に親しみを持っていただけるようなキャラクターにしました。



優秀賞
愛称 さのさん
作者 吉留 塔子さん
(いちき串木野市)



優秀賞
愛称 ぼんきい
作者 尾崎 秀和さん
(いちき串木野市)



② 市PR動画の撮影が終了しました

市制施行 20 周年を記念した PR ショートドラマの撮影が、6月に無事に終了しました！市民の皆さんにとって馴染みのある風景や、ふるさとの魅力がたっぷり詰まった作品に仕上がっています。

本作は、10月11日（土）開催の「いちき串木野市市制施行 20 周年記念式典」にて初上映し、市公式 YouTube チャンネルでも公開する予定です。ぜひ、お楽しみに！撮影にご協力いただいた関係者の方々に心より感謝申し上げます。



20代から40代の血圧のはなし

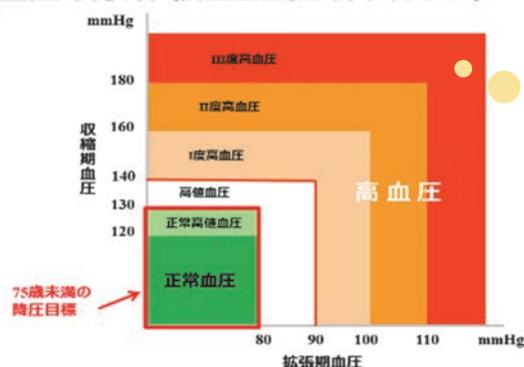
近年、若い世代の高血圧者が多くみられる傾向があることから、本市では20代から40代の方への生活習慣病の発症・重症化予防の取組として、「高血圧対策」に力を入れています。女性は、高血圧が原因で出産リスクが高まる場合もあります。

串木野健康増進センターでは、20代から40代の方を対象に様々な機会を通して、血圧測定を実施しています。

私たちの血圧は日々変動します。
自分の血圧、知っていますか？

様々な要因・・・

血圧の分類（高血圧治療ガイドライン2019）



（出典：「高血圧治療ガイドライン2019」日本高血圧学会 2019.4.25 より作図）

高血圧とは
135mmHg以上/85mmHg以上なら高血圧です。
※診察室だと140mmHg以上/90mmHg以上

体重測定

今年3月までに血圧測定した方のうち、体重測定の習慣がある方は**74%**でした。体重が増えると血圧が高くなる傾向があります。特に肥満は高血圧のリスクを高めます。まずは自分の適正体重を知りましょう。

$$\text{BMI (kg/m}^2\text{)} = \text{体重 (kg)} \div \text{身長 (m)} \div \text{身長 (m)}$$

BMI：18.5～22が適正体重です。
一週間に一度は計測しましょう。

塩分摂取量

塩分は体内の水分量を増やし、血液量を増加させ、血圧を上昇させます。血圧測定した方のうち、適正量以上の塩分を摂取している方は全体の**27.5%**で、高血圧者については、適正量以上の塩分を摂取している方は**37.5%**でした。

まずは自分の健康を大切に…

忙しい毎日を送る中で、自分のことは、つい後回しになりがち…。自宅での血圧測定や体重測定、塩分に気をつけるなど、自分のために、ご家族のために、大切な人のために、まずはできることから自分自身の健康管理に取り組んでみませんか。

1日の塩分摂取量目標は
男性 7.5g 未満、女性 6.5g 未満

食のまちストーリーズ Vol.23



本市で取り組んでいる「食のまちづくり」に関連する情報を紹介します。「食」を通じて、いろんなことを楽しむ、いろんなことをやってみる。人がいきいきと輝き、まちが元気になる。それが「いちき串木野市 食のまちづくり宣言」です。本市は、海の味、山の味、こだわりの珈琲から蔵元の焼酎まで、心がほっとするおいしいものが身近にある、豊かな食文化を誇るまちです。この食文化をおいしく、楽しく味わいながら、人がいきいきと輝くまちにみんな育てていきましょう。

顔の見える関係性の中で、子どもたちのために地元食材を届け、食育の輪を広げる ～ 食のまちPRパートナー いちき串木野市立学校給食センター 田尻美穂子さん・生産者 五嶋大真さん～

Text & photo Yasutoshi Kami

皆さんは『食のまちPRパートナー』（以下：PRパートナー）をご存知でしょうか。本市では食の魅力発信や食に関するプロジェクト等に積極的にかかわり、市と一緒に「食によるまちづくり」を推進していく仲間として2022年度から個人や団体が登録されています。

今年度はPRパートナーとして活動されている方々をご紹介します。きたいと思います。

今回ご紹介するのはいちき串木野市立学校給食センター（以下：給食センター）栄養教諭の田尻美穂子（たじり・みほこ）さんと、有機野菜などを栽培している五嶋農園の五嶋大真（ごとう・たいしん）さんです。

本市の給食における地元食材の利用率は米が100%なのに対し、野菜・果物は2022年度が約3%でしたが、食育を通じた地道な取り組みが功を奏し、2024年度は約11%となっています。その背景などを聞いていきます。



地元食材を気軽に知り、身近に感じてもらえる食育を、地元事業者とともに

<いちき串木野市立学校給食センター栄養教諭 田尻美穂子さん>
給食センターでは2022年より地元生産者が育てた有機野菜を使用した給食の提供に力を入れ、昨年度から通常の給食メニューに加え、地元食材を使用したハート型のさつま揚げやパンプキンケーキ、ばふ～ん饅頭など、地元事業者のサポートのもと提供しています。

「子どもたちに地元食材やつくり手の皆さんを知ってもらうだけでなく、その先には環境について考え、食材やメニューができるまでの背景を知る、そして、食べることへの感謝の気持ちを持つことにも繋げていきたいです」

有機野菜を「子どもたちのため」に届け、顔の見える関係性づくりを

<五嶋農園 五嶋大真さん>

五嶋さんが給食センターと連携し、地元の子供たちに有機野菜を提供するために動き始めたのは2022年。きっかけは農家として活動する中で「顔の見える関係性」の大事さに気づいたことだったといいます。

取り組みを通し、生産者としての顔を知ってもらい、実際に五嶋さんの畑に農業体験に来てもらう機会も増えたことで手応えを感じているそう。

「給食センターや地元の生産者の方々のサポートがあったからこそ、給食における地元食材の利用率を上げることができました。今後は給食だけでなく、種を蒔き野菜をつくることから食べるころまで一貫して子どもたちと行うことで、顔の見える関係性をもっと広げ、食べることに対する感謝を僕自身も一緒に深めていきたいです」

コラムの続き、これまでのおいしい情報は公式note（右の二次元コード）からご覧ください。

